

やってみよう自分から もっと生かそう学んだことを ともに生きよう感謝の心で



学校だより

10月号

横浜市立谷本小学校
令和5年9月29日

HP アドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamoto/>



品位 情熱 結束 規律 尊重

校長 高橋 哲雄

夏休み明けからバスケットボール、続いてラグビーとワールドカップがあり、連日メディア等でその盛り上がりが伝えられています。バスケットボールは、この大会で48年ぶりのオリンピック自力出場を決めました。国際大会での敗戦が続くチームの中心である渡辺雄太選手が代表引退の決意を語る中、パリオリンピック出場の切符をつかむまでの試合の数々は感動の連続でした。

その後ラグビーのワールドカップが始まりましたが、試合を観ていると他のスポーツとの違いのようなものを感じました。例えば、日本とチリの試合で、ピッチの外に出た日本の選手が転倒しそうになったのを、近くにいたチリの選手がとっさに支え無事を確認してからプレーに戻ったり、試合終了直後にも関わらず、お互いに握手して健闘を讃え合ったり、何か周りの人に対するリスペクトのようなものを感じました。また、トライのシーンでは、相手選手に対して喜びをアピールしたり、過度に喜んだりすることが少ないように感じます。そこには、トライは自分の力だけではなく仲間の努力が結集したもの、という考え方があり、ボールを奪いパスをつないでくれた仲間を尊重し、悔しい思いをしている相手選手をおもんばかる気持ちの表れているのだそうです。

どうしてこのような行動が見られるのか調べてみると、「ラグビー憲章」の中に、ラグビーが持つ人間形成に資する特徴、5つのコアバリューとして「品位、情熱、結束、規律、尊重」ということが示されていました。これは、ラグビーに関わる全ての人々に共有してほしい価値観、全員が心をつなぐ一体感を持つ、すなわち One Team となるための最も基本となる考え方、価値観とされています。この一つ一つのことを詳しく見ていくと、学校生活の中でも生かすことのできる要素がたくさんあると感じました。

谷本小学校は今、運動会へ向けての取組が盛り上がってきています。取組を通して、目標へ向かって努力すること、フェアプレーの精神、みんなでまとまっていくことなど体験しながら身に付けていってほしいと願っています。